

ルカの福音書 07回

ザカリヤの賛歌

ルカ 1:67~80

1. はじめに

- (1) 前回は、「ヨハネの誕生」について学んだ。
- (2) 文脈としては、ヨハネとイエスの対比が続いている。
 - ①誕生の告知
 - ②実際の誕生物語
 - ③人々の喜び
- (3) この対比は、ヨハネよりもイエスのほうが偉大であることを示している。
- (4) ルカ 1章と 2章で、5つの賛歌が登場する。
 - ①エリサベツの預言的言葉 (1:42~45)
 - ②マリアの賛歌 (マグニフィカート) (1:46~55)
 - ③ザカリヤの賛歌 (ベネディクトゥス) (1:68~79)
 - ④天使たちの賛歌 (グロリア・イン・エクセルシス・デオ) (2:14)
 - ⑤シメオンの賛歌 (ヌンク・ディミティス) (2:29~30)
- (5) ザカリヤの賛歌の特徴
 - ①ギリシア語では、1つの長い文である。
 - ②少なくとも 16箇所が旧約聖書への暗示・言及である。(Alfred Plummer)
 - *詩篇や預言書
 - *マリアの賛歌では、12箇所がそうである。
 - ③「契約」と「誓い」ということばが強調されている(72~73節)。
 - *契約に対する神の忠実さが中心テーマである。

2. アウトライン

- (1) 前書き (67節)
- (2) 賛歌の前半:メシアによる解放 (68~75節)
- (3) 賛歌の後半:ヨハネの役割 (76~79節)
- (4) ヨハネの成長 (80節)

3. 結論

- (1) イエスとヨハネの対比
- (2) 信者の現実的手本としてのザカリヤ

ザカリヤの賛歌について学ぶ。

I. 前書き (67 節)

1. 67 節

Luk 1:67 さて、父親のザカリヤは聖霊に満たされて預言した。

- (1) この賛歌は、聖霊に満たされて語る預言である。
 - ①ヨハネは、母の胎にいるときから聖霊に満たされた (15 節)。
 - ②エリサベツは、聖霊に満たされて叫んだ (41 節)。
 - ③祭司ザカリヤも、聖霊に満たされて預言した。
 - * 不信仰とその裁きから解放された彼は、素晴らしい賛歌を口にした。
- (2) ザカリヤの賛歌の役割
 - ①天使ガブリエルは、ヨハネはメシアの先駆者だと予告した (15~17 節)。
 - ②マリアの賛歌は、イエスの誕生は終末的希望の成就だと歌った (46~55 節)。
 - ③ザカリヤの賛歌は、メシアとヨハネの協力関係について歌っている。

II. 賛歌の前半：メシアによる解放 (68~75 節)

1. 68 節 a

Luk 1:68a 「ほむべきかな、イスラエルの神、主。

- (1) これは、詩篇や預言書にたびたび登場する表現である。
 - ①マリアの賛歌も、同様のことばで始まっている。
 - ②新約聖書の書簡にも、同様の表現がある。
 - * エペ 1 : 3~10、2 コリ 1 : 3~4、1 ペテ 1 : 3~5
- (2) ザカリヤは、イスラエルの神、主をほめる (賛美) する理由を挙げる。
 - ①メシアによって、終末的希望である「解放」が成就する。

2. 68b~70 節

Luk 1:68b 主はその御民を顧みて、贖いをなし、

Luk 1:69 救いの角を私たちのために、／しもべダビデの家に立てられた。

Luk 1:70 古くから、その聖なる預言者たちの口を通して／語られたとおりに。

- (1) 時制は、未来完了形、つまり預言的完了形である。
 - ①マリアの賛歌でも、未来完了形が用いられていた。
- (2) 神はイスラエルの民を顧みてくださった。
 - ①創 21 : 1 (サラ)
 - ②出 4 : 31 (イスラエルの子ら)
 - ③ゼカ 10 : 3 (ユダの家)

④使 15 : 14 (異邦人)

Act 15:14 神が初めに、どのように異邦人を顧みて、彼らの中から御名のために民をお召しになったかについては、シメオンが説明しました。

(3) 「贖いをなし」とは、外的解放と内的解放を含む。

①「救いの角」とは、メシアのことである。

*角を持った動物の力は、その角にある。

②詩 18 : 2

Psa 18:2 【主】はわが巖 わが砦 わが救い主／身を避けるわが岩 わが神。／わが盾 わが救いの角 わがやぐら。

(4) 救いの角とは、ヨハネではなく、ダビデの家系から登場する人物である。

①ザカリヤは、マリアが3か月滞在したので、イエスのことを知っていた。

②彼は、イエスとヨハネが同じ計画の2つの部分であることを理解していた。

③今起きている出来事は、新しい宗教の創設ではない。

④ヨハネとイエスの誕生によって、イスラエルの民の解放の預言が成就した。

3. 71～73 節

Luk 1:71 この救いは、私たちの敵からの、／私たちが憎むすべての者の手からの救いである。

Luk 1:72 主は私たちの父祖たちにあわれみを施し、／ご自分の聖なる契約を覚えておられた。

Luk 1:73 私たちの父アブラハムに誓われた誓いを。

(1) 「私たちの敵」「私たちが憎むすべての者」は、政治的な敵以上の者である。

①アブラハムへの誓いの成就 (創 22 : 16～18)

Gen 22:16 こう言われた。「わたしは自分にかけて誓う——【主】のことば——。あなたがこれを行い、自分の子、自分のひとり子を惜しまなかったので、

Gen 22:17 確かにわたしは、あなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように大いに増やす。あなたの子孫は敵の門を勝ち取る。

Gen 22:18 あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたが、わたしの声に従ったからである。」

(2) 72～73 節の強調点は、「契約」と「誓い」である。

①父祖たちと結んだ契約を覚えておられた。

②アブラハムに誓われた誓いを覚えておられた。

(3) 72～73節と3人の名前との関係 (G. Campbell Morgan)

- ①ヨハネー主のあわれみ (72節)
- ②ザカリヤー主は覚えている (72節)
- ③エリサベツー神の誓い (73節)

4. 74～75節

Luk 1:74 主は私たちが敵の手から救い出し、／恐れなく主に仕えるようにしてください。

Luk 1:75 私たちのすべての日々において、／主の御前で、敬虔に、正しく。

(1) 外的解放

- ①イスラエルの敵からの解放が与えられる。
- ②恐れなく主に仕えるようになる。

(2) 内的解放

- ①主の御前で、敬虔に、正しく生きるようになる。

III. 賛歌の後半：ヨハネの役割 (76～79節)

1. 76～77節

Luk 1:76 幼子よ、あなたこそ／いと高き方の預言者と呼ばれる。／主の御前を先立って行き、その道を備え、

Luk 1:77 罪の赦しによる救いについて、／神の民に、知識を与えるからである。

(1) ザカリヤは、直接幼子に呼びかけている。

- ①幼子は、「いと高き方の預言者」と呼ばれる。
- ②幼子は、メシアの先駆者としての働きをする。

*イザ 40:3、マラ 3:1、4:5

Mal 3:1 「見よ、わたしはわたしの使いを遣わす。／彼は、わたしの前に道を備える。／あなたがたが尋ね求めている主が、／突然、その神殿に来る。／あなたがたが望んでいる契約の使者が、／見よ、彼が来る。／——万軍の【主】は言われる。」

③救いの内容について、神の民に、知識(体験)を与える。

*罪の赦しによる救い。

*メシアは政治的メシアではない。

④救いを教えることが、先駆者の究極的使命である。

2. 78～79節

Luk 1:78 これは私たちの神の深いあわれみによる。／そのあわれみにより、／曙の光が、いと高き所から私たちに訪れ、

Luk 1:79 暗闇と死の陰に住んでいた者たちを照らし、／私たちの足を平和の道に導く。」

(1) メシアの到来が、曙の光にたとえられている。

①「曙の光が、いと高き所から私たちに訪れ」とは、メシアの到来のこと。

②イザ 60 : 19 参照

Isa 60:19 太陽はもはや、あなたの昼の光とはならず、／月の明かりもあなたを照らさない。
／【主】があなたの永遠の光となり、／あなたの神があなたの輝きとなる。

③この光は、異邦人の上にも輝くようになる。

(2) ザカリヤは、単に息子の誕生を喜んでいるだけではない。

①メシアの到来と関連づけて、息子の誕生を喜んでいるのである。

IV. ヨハネの成長 (80 節)

1. 80 節

Luk 1:80 幼子は成長し、その霊は強くなり、イスラエルの民の前に公に現れる日まで荒野にいた。

(1) ヨハネは、両親亡き後、ユダの山地近辺の荒野に住んだ。

①若い時から、預言者エリヤのような生活を選んだ。

②自分がエリヤのような奉仕をすることを認識していた。

③荒野は、黙想する地である。

④ルカ 3 : 2

Luk 3:2 アンナスとカヤパが大祭司であったころ、神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに臨んだ。

(2) これは、イエスの成長物語と似ている。

①ルカ 2 : 40

Luk 2:40 幼子は成長し、知恵に満ちてたくましくなり、神の恵みがある上にあつた。

②2人の子どもは、30年後に同じ神の計画を進める働きに合流する。

結論

1. イエスとヨハネの対比

(1) 2人の幼子は、ともに同じ神の計画を担う。

①ザカリヤは、ヨハネの誕生によって新しい時代が到来したことを知った。

②マリアも、イエスの誕生によって同じ確信を持った。

(2) ヨハネに対するイエスの優位性が強調されている。

①誕生物語の対比

*ヨハネは 1 : 57~58 までの 2 節。

*イエスは2:1~20までの20節。

②呼称の対比

*ヨハネは「いと高き方の預言者」(76節)である。

*イエスは「聖なる者」、「神の子」(35節)である。

③ヨハネをイエスと同列に論じてはならない。

*ヨハネの偉大さを確信している人たちへのルカからの警告である。

2. 信者の手本としてのザカリヤ

(1) ザカリヤは、信者の現実的な手本である。

①彼は、旧約的な意味での義人である。

②彼は、信仰によって救われていた。

③しかし彼は、不信仰のゆえに聾啞状態に陥った。

④これは、救いの喪失ではなく、神からの訓練である。

⑤神のことばを認めた時に、聾啞状態から解放された。

(2) 悔い改めた者には、再び奉仕の機会が与えられる。

①私たちにも同じことが起こる。

②罪を犯すと、「信仰のことば」を失う。

③解決策は、1ヨハ1:9である。

1Jn 1:9 もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、私たちをすべての不義からきよめてくださいます。